

物事の世界を冒険しよう

境川中学校 一年七組 山田結可

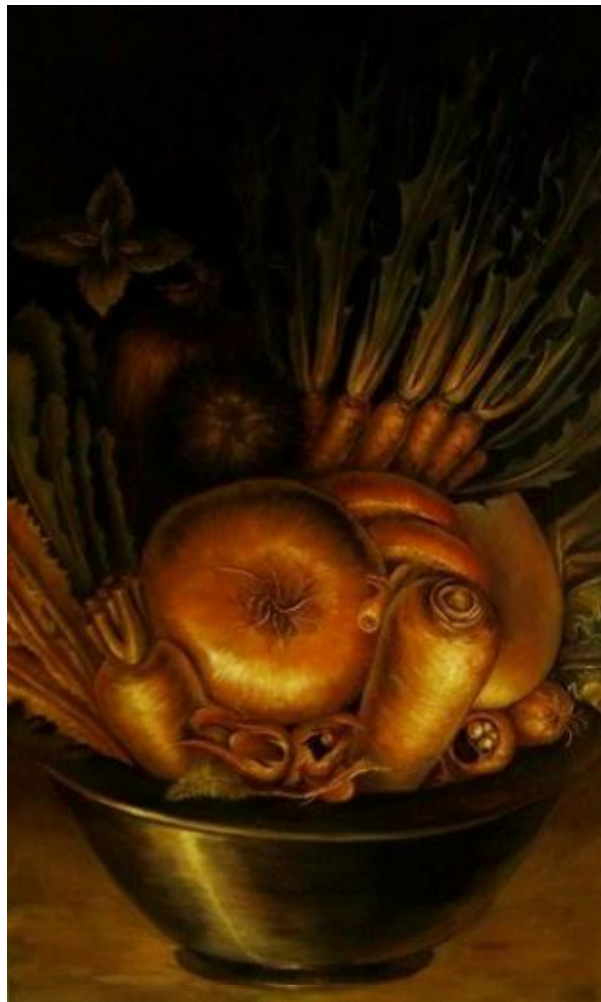
あなたには、他の人の話を聞いて、ああ、そんな考え方もあるのか、と思ったことはないだろうか。さあ、そんな世界を冒険してみよう。

左の絵を見てみよう。湖を静かに眺めている男女が描かれているであろう。



この二人の心の中を読み取ってみせよう。今、この二人は、とても幸せな気分だろう。なぜ分かったか、不思議だろうが、そのヒントはこの絵の中に隠されている。視野を広げて見よう。すると、かわいらしい赤ん坊が、木と地面の間に見えるであろう。この二人は、子どもができて、幸せなのだ。似たようなことは、生活の中でも体験できる。例えば、意味もなく白と黒の小さな正方形が並んでいるQRコードだが、よく見てみると、まるで何か他の絵を描いたかのように見えることがある。

る。
では、次の図はどうだろう。おいしそうな野菜がたくさん入ったボウルの絵が見えるだろう。しかし、この絵も、別の顔を持っている。



一八〇度回転させてみてはどうだろう。すると、あつという間に、帽子をかぶって箆みを着たおばあさんに見えてしまう。これは、絵だけに限らない。物事をとらえるとき、——そう、けんかした二人がいるとしよう。片方の意見を聞いていると、もう一人が悪いだけだと思ってしまうけれど、反対に、もう一人の話を知ると、その反対の人が悪いように思えてしまうだろう。だから、思いこみにとらわれずに、いろんな角度から物事を見たり、視野を広げて見てみるように心がけよう。そうすると、あなたの周りにも、たくさんの世界が見えてきて、驚きや発見の冒険ができるだろう。